

白秋第一歌集『桐の花』 発刊100周年記念

# ロビー写真展への応募のお誘い



大正2年白秋28歳の誕生日に第一歌集『桐の花』が発刊されました。『桐の花』には、短歌450首とともに「桐の花とカステラ」など6つの「小歌論」「詩文」も加えられています。自然の推移に任せて「春」「夏」「秋」「冬」「心」の5章からなり、季節感も意に含めています。「短歌は一箇の小さい緑の古宝玉である」と言った白秋の新鮮な歌風が感じられます。



そこで、100周年に因んで、白秋の「桐の花」の世界を知っていただこうと、写真展を開くことにいたしました。下記の要領で募集しますので、多くの皆様のご応募をお待ちしております。(左上写真は福原達人氏撮影)



白秋によるカット

ラテスカと花の桐

## ★ 募集期間

平成25年6月1日(土)～25日(火)

## ★ 応募

どなたでもご応募いただけます。

(市内外・年齢を問いません)

## ★ 題材 白秋『桐の花』にちなんだ作品

- ① 桐の花そのもの
- ② 歌集『桐の花』の短歌にちなんだ風景、静物、人物ポर्टレート
- ③ 歌集『桐の花』にある白秋のエッセイにちなんだもの
- ④ 画題を10字以内で(記入様式有)

## ★ 注意事項

- (1) 裏面の応募用紙を同封してください。
- (2) 作品は、お返しいたしません。
- (3) 作品が題材にそぐわない時は、展示できないこともありますのでご了承ください。
- (4) 転用写真は、展示しません。
- (5) 肖像権の問題が発生しないように被写体となる方の同意を得てください。
- (6) 送料は、応募者の負担でお願いします。
- (7) 展示した作品の作者には粗品進呈。



## ★ 規格

- ① 4ツ切またはA4版単写真
- ② 作品はすべてプリントで。
- ③ カラー、モノクロ可

## ★ 展示場所・期間

北原白秋記念館ロビー  
平成25年7月1日～31日

【応募・問い合わせ先】

北原白秋記念館 (〒832-0065) 柳川市沖端町55-1

TEL (0944) 73-8940、 FAX (0944) 74-3810

## 応募用紙

ふりがな			
応募者名		年齢	才
応募者住所	〒		
(連絡先電話／FAX)	/		
作品の題名 (10字以内で)			
撮影の記録	撮影日		撮影場所
応募に添える コメント (50字以内で)			

----- 切り取り線 -----  
 ※ 応募用紙に記入されたことは、展示事務以外には使用いたしません。

【参考にしてください】

『桐の花』の装幀、挿絵すべてが白秋自身の手によるものです。  
 『桐の花』には、ヒヤシンス、チューリップ、アマリリス、サフランなどの花も多く出てきます。

夏帽子潇洒につけて身をやつす若き紳士の白百合の花  
 夏よ夏よ鳳仙花らし走りゆく人力車夫にしげしかがやけ  
 ロンドンの悲しき言葉耳にあり花赤ければ命短し

また、ランボーやモーパッサンなど外国の文学人も登場します。フランス文学への憧憬もあったのでしょ

南風モウパッサンがをみな子のふくら脛吹くよき愁吹く  
 そぞろあるき煙草くゆらすつかのまも哀しからずやわかきラムボオ

当時としては珍しいココア、サラダ、ナイフ、セエリー、ジンなど洋食（酒）にまつわるものとともに、ソナタ、アリア、ワルツなど西洋音楽や楽器に関する名前も多く出てきます。



やわらかきかなしみきたるジンの酒とりてふくめばかなしみきたる  
 やわらかに誰が喫みさしし珈琲で紫の吐息ゆるくのぼれる  
 よき椅子に黒き猫さへ来てなげく初夏晩春の濃きココアかな  
 にはやかにトロムボーンの音は鳴りぬ君と歩みしあとの思ひ出

これらは、当時にあつて白秋の西欧風のロマンティシズムや外来のモダンな感覚と嗜好とも言えるでしょう。

「哀傷篇」の中扉裏にある「罪びとソフィーに贈る「三八七」番」とは、どんな意味なのでしょう。恋愛下獄事件の後、妻になる松下俊子のことです。三八七番は、白秋の収監番号なのです。

俊子にかかわるであろう歌は、次のようなものがあります。

人妻のすこし汗ばみ乳しぼる硝子杯（コップ）のふらのなつかしきかな  
 すつきりと筑前博多の帯をしめ忍び来し夜の白ゆりの花  
 君かへす朝の舗石（しきいし）さくさくと雪よ林檎の香のごとくふれ  
 雪の夜の紅きぬろりにすり寄りつ人妻とわれと何とすべけむ  
 つかのまも君を見ずては柳へがたきかなしき狐つきそめにけり

